



ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2020年(令和2年)7月25日号 No.1832

目次

■ 2019年のロシアの外国直接投資受入動向	1
■ 『ロシアNIS調査月報』2020年8月号のご紹介	7
■ エトセトラ	8
日露クリエイティブ産業セミナー開催のご案内／8	
■ キーパーソン	8
ハバロフスク知事代行就任／8	
■ トピックス	9
ロシアの加熱処理乳製品、対日輸出可能に／9	
OPECプラス、協調減産縮小／9	
トルクメニスタンで肺炎急増／9	
JAL、東京～モスクワ臨時便運航予定／9	
日露予防医療診断センター創設へ／10	
ロシア経済、第2四半期は9.6%減／10	
NIS諸国の新型コロナウイルス関連ニュース／10	

2019年のロシアの外国直接投資受入動向

はじめに

2020年5月末から6月初めにかけて、ロシア中央銀行がロシアの外国投資(外国直接投資=FDI)の最新データを発表したのので、本稿では抜粋してご紹介する。かつてロシアでは、連邦統計局が外国投資に関するデータを発表していた。しかし、統計局による発表は2013年分のデータまでで打ち切られ、現在は中央銀行に一本化されている。なお、ロシアによるウクライナ領クリミアの併合は国際的に承認されていないが、中央銀行のデータにはクリミア共和国およびセヴァストポリ市のデータも含まれている。そこで、以下では参考までに両地域のデータについても掲載している。しかし、当然のことながら、ロシアによるクリミア併合を是認するものではない。

ロシアの外国直接投資

統計局の時代と異なり、ロシア中央銀行が詳細なデータを発表しているのは直接投資だけであり、証券投資、その他投資は対象になっていない。対内直接投資(外国からロシアへの投資)と対外直接投資(ロシアから外国への投資)の両方が発表されているが、本稿では差し当たり前者だけを取り上げる。図表1には各年に関してグロスの受入額(A)、償還額(B)、ネットの受入額(A-B)を示している。2018年にはFDIの純流入がほとんどなかったが、2019年にはネットの受入額が増加した。